

学童保育指導員（放課後児童支援員等）の資質向上のための研修会

第49回

全国学童保育指導員学校東北会場



2024年7月14日（日）
10：00～16：15（9：30開場）
会場：東北大学川内萩ホール
東北大学川内南キャンパス

2024年7月13日（土）
14：00～15：30（13：45開場）
会場：仙台市青葉区中央市民センター調理室
オンライン併用（13：30受付開始）

学童保育は、「子どもたちの放課後を安全に集団の中でいきいきと成長させたい。そして安心して働きたい。」という親たちの切実な願いから生まれました。2023年5月現在、全国には3万6,094支援の単位（2万4,493か所）の学童保育があり、140万4,030人の子どもたちが毎日生活しています。

2011年、東日本大震災と原発事故が起きました。その後も、豪雨による水害、度重なる地震など、自然の猛威による災害が続いていますが、東北各地学童保育では、指導員が子どもの命と心を守り、その後も子どもと保護者の生活と心を支え続けています。

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）対応のなかで、現場では、私たちがこれまで大切にしてきた子ども・保護者との関わり方、保育のあり方が大きく変化していないでしょうか。また、感染拡大当初より、「学童保育は社会の機能を維持するために必要な事業」であるという認識や期待が広がると同時に、現行の制度の脆弱性が浮き彫りになりました。

子どもの命を守り、安全に安心して過ごせる継続的な「生活と遊びの場」を保障するために、また、高い専門性が求められる指導員が、正規・常勤雇用の専門職として自信と誇りをもって働き続けるために、ともに学び合いましょう。

なお、今回は、従来から行っていた会場開催に戻しての開催といたします。

主催 全国学童保育指導員学校東北会場実行委員会

全国学童保育連絡協議会

青森県学童保育連絡協議会準備会・岩手県学童保育連絡協議会

宮城県学童保育連絡協議会・山形県学童保育連絡協議会

福島県学童クラブ連絡協議会

協力 宮城県学童保育緊急支援プロジェクト

協賛 公益財団法人 仙台観光国際協会

後援（予定）

宮城県・仙台市・青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県 ほか 東北各自治体
東北のマスコミ各社

◆ 日 程

7月14日(日)

9:30	10:00	12:00	13:15	16:00
受付	全体会	休憩	講座	

◆ 全体会 10:00~12:00 (9:30~受付開始)

- 基調報告 全国学童保育連絡協議会
- 全体講義 『生活時間と就労の葛藤を解きほぐす
—さまざまな対立構造を乗り越え、人間らしい生活と処遇の実現を目指すために—』
講師：上西 充子（法政大学）

【講師プロフィール】

1965年生まれ。専門は労働問題・社会政策。「ご飯論法」で2018年の新語・流行語大賞トップテンを共同受賞。主な著書に『大学生のためのアルバイト・就活トラブルQ&A』、『呪いの言葉の解きかた』、『国会をみよう 国会パブリックビューイングの試み』、『政治と報道』など。

【全体会会場】 東北大学川内萩ホール 仙台市青葉区川内 40

【講座会場】 東北大学川内南キャンパス 仙台市青葉区川内 27-1

● アクセス

*会場へのアクセス情報はこちら

① 地下鉄利用の場合

仙台駅から市営地下鉄東西線八木山動物園行き
国際センター駅下車 西1出口から徒歩約5分



② 自動車で来場の場合

東北自動車道「仙台宮城 IC」より西道路経由 *川内萩ホール駐車場(無料)が利用できます。

【公開講座】 子ども参加のおやつづくり ~家庭で 学童保育で~

7月13日(土) 14:00~15:00 (13:45 開場)

※ オンライン受付は 13:30 から

- 内 容：子どもたちとのおやつづくりの実演を含むワークショップ
子どもたちにとって楽しみなおやつは、大切なコミュニケーションの場。コロナ禍で自粛せざるをえなかった学童保育も多い手作りのおやつですが、簡単で衛生管理に配慮したおやつづくりを、学童保育の子どもたちが行い講師が解説します。保護者にも職員の皆さんにも満足いただける内容です。
- 講 師：高橋比呂映（学童保育の「食」を考える会・宮城学院女子大学）
平本福子（学童保育の「食」を考える会・宮城学院女子大学名誉教授）
- 協 力：仙台市東二番丁マイスクール児童館
- 会 場：仙台市青葉区中央市民センター および Zoom でのオンライン参加
(宮城県仙台市青葉区一番町 2丁目 1-4) 仙台駅から青葉通りを直進(徒歩7分)
※会場手狭なため、状況によりオンライン受講をお願いする場合があります。
- 公開講座のみの参加は、無料

講座1	学童保育とは～生活づくりで大切にしたい視点	門田弘之 (全国学童保育連絡協議会)
基礎講座	「安心して働きたい」「子ども達に放課後の豊かな生活をおくらせたい」という働く保護者の切実な願いで生まれた学童保育。今では働きながら子育てをする家庭にはなくてはならない存在です。学童保育の目的や役割とは？学童保育における保護者の役割とは？等々 放課後児童クラブ運営指針の学びはもちろん、子ども達とともに日々の生活を作り出す「生活づくり」(指導員の仕事)の考え方をもとに大切な視点を学び合いましょう!!	
講座2	学童保育指導員の仕事	及川菜見子 (山形県山形市指導員)
基礎講座	学童保育で、仲間と楽しいこともそうでないことも共にする日々は、子どもたちにとって大切な経験と成長に繋がっています。子どもたちに寄り添い、安心して充実した時を刻んでいけるように一緒に過ごすことは、指導員の重要な仕事です。指導員として大切にしたいこと、求められている役割を果たすために必要な仕事内容について学び合いましょう。	
講座3	障害の特性や特徴と事例を通した生活づくり	梅津憲栄 (作業療法士)
講義交流	学童における子ども達の受け入れが増え、それに伴い「困り事」も多種多様になっています。学校を始め多くの専門機関と連携する機会が増えている事から、身体や発達の障害について一般的な特性や周辺に及ぼす影響について考慮した関わりが必要と感じています。障害の定義や特徴を踏まえた上でどういった生活づくりを提案できるか、事例を通して一緒に考え、話し、学び合いましょう。	
講座4	指導員のチームワーク、職場づくり	高橋 誠 (全国学童保育連絡協議会)
講義交流	子どもによりよい「生活の場」を保障するためには、職員集団としての子どもとのかかわりが必要です。それぞれの指導員が子どもとのかかわりを振り返り、打ち合わせ等の場面で交流することは、子どもへの理解を深め、それを保育実践に生かすことにつながります。子どもが置かれている現状をふまえ、子どもの人権、指導員としての職業倫理、職員集団づくりのありかたについて学びます。	
講座5	保護者との伝え合い～保護者と共につくる	定久あけみ (福島県いわき市指導員)
講義交流	わたしたちは、子どもの最善の利益を考え、日々学童保育をしています。それには保護者との信頼関係が必要不可欠です。そのためには、保護者の思いを受け止め、指導員と保護者がともに子どもを育てることの大切さをみんなで交流し一緒に学びましょう。	
講座6	学童保育での安全を考える	佐藤秀樹 (福島県福島市指導員)
講義交流	学童保育の「安全計画の策定」が、本年度より義務化になりました。指導員は万が一の際に「安全計画」にもとづいて行動することが求められます。本講座は、学童保育の安全の基本的な考え方を確認し、「安全計画」が実践的に活かされる方策を一緒に考えます。	
講座7	大人が知っておくべき知識と対応の実際 ～小学生における生と性教育を考える～	秋元義弘 (岩手県立中部病院 第一産婦人科 医師)
講義	正確な知識は子どもたちを護る武器であり楯となります。今の子どもたちを取り巻く環境がどのようになっているのかを知り、自分を護り、大切な人を護るため、全ての世代が正しい知識を選択出来るような力を身につけて欲しいと心より願っています。	
講座8	子どもと保護者を支える～愛着形成に課題のある親子を中心に	足立智昭 (社団法人東日本大震災子ども・若者支援センター 宮城学院女子大学名誉教授)
講義	子どもたちの生活を見守る学童保育指導員は、子どもたちの行動や発言から感じ取れる怒りや不安に共感し、支えとなります。その過程で、発達上の問題や家庭環境に起因する困難を抱える子どもたちに気づくこともあります。この講座では、愛着の形成や発達に課題を有する子とその保護者をどのようにサポートするかについて学びます。	
講座9	子どもとことば	後藤 篤 (公立大学法人 宮城大学)
講義	「ことば」とは何でしょう？私たちは、日々の生活で子ども・保護者と「ことば」を通してつながっていますが、現在の社会(学童保育現場も含む)では、ただ素通りしていると感じることはありませんか。発した「ことば」にある思いをくみ取り、背景にある社会との関係とどう関連付けられているのか、受けとめるための感性を磨くとはどういうことか、などについて学びます。	
講座10	学童保育と指導員をめぐる情勢と課題	佐藤愛子・千葉智生 (全国学童保育連絡協議会)
講義	国は、「こども大綱」「こども未来戦略」「こどもの居場所づくりに関する指針」を策定し、子ども政策は大きく変わろうとしています。大規模化、途中退所の問題、不十分な施設・設備、指導員の処遇など、施策そのものの脆弱性や、保育内容・指導のあり方、運営主体の変更や保護者や地域との関わりなどの課題もあります。学童保育・指導員の現状と課題を確かめあい、学童保育をよりよくしていくための運動の視点を学び合いましょう。	

◆ 受講料 一人 2,500 円（税込） ※公開講座のみの参加者は無料

◆ 定員 申込みは先着順です。定員がありますので、お早めにお申込みください。

※午後の講座は、必ず第2希望までご記入ください。

第1希望の講座が定員超過の際は、第2希望になる場合があります。

◆ 昼食 希望者には弁当を700円で斡旋します。

※会場の東北大学萩ホール・川内南キャンパス近隣にはコンビニや飲食店はありません。

◆ 申込み方法

- 申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、受講料（一人2,500円）と弁当代（希望者）を指定の口座に送金し、控えのコピーを添えてメールまたはFAXでお申し込みください。
- 申し込みの際に記入いただいた個人情報、指導員学校の受付業務・運営・助成金申請に必要な範囲で、実行委員会が管理・運用致します

◆ 申込み先 山形県学童保育連絡協議会 【詳細は別紙をご覧ください】

締切り 6月17日（月） キャンセル期限 6月24日（月）

※キャンセル期限までにご連絡いただいた場合は、振込み手数料を差し引いて返金致します。

それ以降につきましては、「受講のしおり」の発送をもってかえさせていただきます。

※リーフレット・申込用紙は、山形県連協HPからもダウンロードできます。

<https://ykenrengakudou.tobihiro.jp>

◆ 振込先 山形信用金庫 山形営業部 普通 0974757
山形県学童保育連絡協議会 会長 元木朗博

◆ お願い

- ・受講時の不測の事態に備え、当日確実に連絡が付き連絡先を必ずご記入ください。
- ・「受講のしおり」は、当日会場にてお渡しいたします。
- ・受講のための受講票を発送いたします。7月10日までに届かない場合は、県連協事務所に連絡ください。
- ・保育を希望される方は、下記の山形県連協にお問い合わせください。

問い合わせ先

研修内容：全国学童保育連絡協議会 03-3813-0477

申込み等：山形県学童保育連絡協議会 023-674-9782

メール：yamagata-kenren@bz04.plala.or.jp